

地質ニュース

昭和52年7月

第275号

1977

解説	石炭資源有効利用に伴う炭質研究の必要性について……	藤井 敬 佐々木 実 尾上 昭 佐藤 敏 我部 良 後藤 正 藤 進	1
	環境地質図についての一試案……	宇野沢 昭	10
	卓上電子計算機によるいくつかの計算例 その1 配列をもつデータの処理……	吉井 守正	16
	佐藤芳治技官 創意工夫功労者表彰を受ける……	山田 隆基	20
	昭和50年における日本の物理探査活動……	小市 林川 金 創徳	21
	びわ湖の生いたち……	稲井 信雄	24
国際会議	太平洋地域の上部新生界(その4)…… ～第1回太平洋地域新第三系国際会議より～	福田 理夫 名取 博	34
海外事情	トルコの銅鉛亜鉛鉱床……	高島 清	45
	富江 TOMIE……	松井 典彦 鎌倉 和泰 倉 沢 一	58

編集 地質調査所

表紙の写真

クリノプチロル沸石 (Clinoptilolite)

約 $10\mu \times 15\mu$ の大きさの六角板状単斜晶系の微結晶は 走査型電子顕微鏡 (東北工業技術試験所の日本電子 JSM-U₈ 型装置を使用) 観察により クリノプチロル沸石化した酸性凝灰岩 (クリノプチロル沸石岩と呼ぶ) 中の自生鉱物として産するクリノプチロル沸石 [$(\text{Na}_2, \text{K}_2, \text{Ca}) \text{Al}_2 \text{Si}_7 \text{O}_{18} \cdot 6\text{H}_2\text{O}$] であり その平板面は {010} である。クリノプチロル沸石と同一した根拠は ① クリノプチロル沸石岩の粉末X線法による鉱物同定 ② クリノプチロル沸石とそのアルカリおよびアルカリ土類イオンが置換関係にある輝沸石 (Heulandite) の結晶形態 (肉眼および光学顕微鏡下に認められる) にきわめて類似する などである。

試料は 秋田県二ツ井町一帯に分布する藤翠川層上部七座凝灰岩 (5万分の1「鷹ノ巣」図幅の Ft₃ に相当) であり その続成変質分帯はII帯に相当している

「写真 文 谷口政碩(東北出張所)および青木守弘(宮城教育大)」

発行 株式会社 実業公報社